

記者発表（資料配付）				
月／日 （曜日）	担当部課 担 当 名	TEL	発表者 （担当班長名）	その他配布先
6／1 （木）	感染症対策課 （感染症班）	（内線）3 2 8 6 （直通）078-362-3213	感染症対策課長 舟川 直輝 （小林 博之）	——

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の患者発生について

【概要】

県内での感染が疑われる重症熱性血小板減少症候群（以下、「SFTS」という。）の患者1名が5月31日に確認されました。

SFTSは、主にSFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。マダニは春から秋にかけて活動期であることから、草むらや藪などマダニが多く生息する場所に入る場合には、マダニに咬まれないよう長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくするなど、感染予防対策をお願いします。

なお、SFTSは、人から人への感染はほとんどありません。

1 確認された患者の概要

- (1) 患 者 20歳代、男性、加東健康福祉事務所管内
- (2) 発病年月日 令和5年5月26日
初診年月日 令和5年5月26日
診断年月日 令和5年5月31日
- (3) 主な症状 発熱、全身倦怠感、血小板減少など
- (4) 現在の状況 入院中
- (5) 感染経路 調査中
- (6) そ の 他
5月26日 発熱等認め、医療機関Aを受診
5月29日 医療機関Bで採血し、血小板減少を認め、医療機関Cへ入院となる
5月31日 PCR検査の実施、「陽性」判明し届出

2 県の対応

- (1) 県民への情報提供と注意喚起
 - ① 県医師会等関係機関へ情報の提供及び疑い患者の情報提供を依頼
 - ② 関係市町へ情報提供を行うとともに、関係機関等への注意喚起を依頼
 - ③ 県ホームページによる注意喚起
- (2) 疑い患者に対する検査の実施

【 注意喚起について 】

県民のみなさまへ

例年、夏から秋にかけてSFTS等のダニ媒介感染症の発生数が増加しますので、野外活動時にダニに咬まれないための予防対策を行いましょう。

（裏面へ続く）

(1) マダニに咬まれないようにすることが重要

- ・ 草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくしましょう。また、虫除け剤を使用しましょう。
- ・ 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないかを確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部などがポイントです。

(2) マダニに咬まれたときは、無理に引き抜こうとせず、皮膚科などの医療機関で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

また、マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は、すぐに医療機関を受診し、マダニに咬まれたことを伝えましょう。

<参考>

[SFTSについて]

(1) 病原体及び症状等

ブニヤウイルス科フレボウイルス属のSFTSウイルスによる感染症で、主にSFTSウイルスを保有するマダニ※に刺咬されることで感染する。

症状は発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）を主徴とし、時に、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴う、血液所見では、血小板減少、白血球減少、血清酵素の上昇が認められる。致死率は10～30%程度である。

※ マダニは、国内に広く分布し、草むらや藪に多く生息しています。食品や衣類などに発生するダニとは全く種類が異なります。

(2) SFTS発生状況（令和5年6月1日現在）

（人）

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30
兵庫県	2	—	—	—	1	—
全国	48	61	60	60	90	77

区分	R1	R2	R3	R4	R5
兵庫県	1	—	2<1>	2	3
全国	101	78	110	118	56※

他県への届出は、<>内書きした。

※：令和5年5月31日現在の国速報値に本事例を加えている

- ・ 国内では平成25年1月に初めてSFTS患者が確認された。
- ・ 兵庫県内では、平成25年7月に豊岡健康福祉事務所管内で2名患者、平成29年7月に赤穂健康福祉事務所管内で1名患者、令和元年7月に赤穂健康福祉事務所管内で1名患者、令和3年6月と8月に豊岡健康福祉事務所管内で各1名患者、令和4年6月に赤穂健康福祉事務所管内で2名患者、令和5年に入り赤穂健康福祉事務所管内と神戸市の各1名患者で、今回が11例目となる。

加東健康福祉事務所（保健所）より

【ダニ媒介感染症について】

病原体を保有するダニに咬まれることによって感染する可能性がある病気は、SFTSのほか、日本紅斑熱、ライム病があります。また、マダニではありませんが、ダニの一種のツツガムシによって媒介される、つつが虫病もあります。

【マダニに咬まれないようにすることが重要！】

マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボンなど肌が露出しない服装が重要で、明るい色のもの（マダニを目視で確認しやすい）がお薦めです。

また、虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると言われています。屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。



フタトゲチマダニ（出典：国立感染症研究所）

【問い合わせ先】

加東健康福祉事務所 健康管理課

TEL: 0 7 9 5 - 4 2 - 9 4 3 6（直通）

【関連リンク】

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について（兵庫県）

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/sfts.html>

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_ga.html

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について（国立感染症研究所）

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/sa/sfts.html>